

大阿蘇環境センター 未来館からのお知らせ

家庭から出るごみのうち、 約40パーセントが「生ごみ」です！

■生ごみの「水切り」をしましょう

家庭から出るごみのうち、約40パーセントを生ごみが占めています。生ごみは水分をとっても多く含んでおり、生ごみの重さの約70〜80パーセントは水分です。この水分を減らすだけでも、ごみの減量につながります。

未来館では、固形燃料ごみ（可燃性）を固形燃料（RDF）に作り変えています。未来館に集められた固形燃料ごみの約半分の重さの固形燃料しか製造できません。なぜなら、生ごみなどに含まれる「水分」が大きく関係しているのです。

そこで重要なのが「水切り」です。調理くずなどの生ごみは、捨てる前に十分に水を切り、最後にもうひとしぼりすることで、重さも量も減らすことができます。

生ごみコンポスト容器などいろいろな方法もありますが、三角コーナーなどに設置するタイプの水切りネットを使えば、捨てる時の水切りが簡単になります。

そして、最後に「ひとしぼり」がポイントです。

住民の皆さん一人一人の心がけがごみ減量の大きな力となります。

これからも引き続き、ごみの分別やごみの減量にご協力ください。

■市町村別1人1日あたりのごみ量

ごみ量が平成22年度までは減少傾向でしたが、平成23年度から少しずつ増加傾向になっています。一般廃棄物処理実態調査（平成23年度実績）の結果では、熊本県民1人1日あたりのごみ排出量が831gとなり、初めて少ない方から全国1位にもなっています。グラフの市町村別住民1人1日あたりのごみ排出量は、平成23年度と平成24年度を比べると、全市町村が増加傾向になっています。住民一人一人が「もったいない」という意識とともに、ごみ減量化の一工夫を日々の暮らしの中で実践することがごみ減量化につながります。

【グラフ】

